

報 廣 ま っ だ い

昭和46年12月20日発行

第148号

東頸城郡松代町公民館
館長 富沢清次
電話 松代1番

印刷 松代印刷所

今年も正月帰省バスが

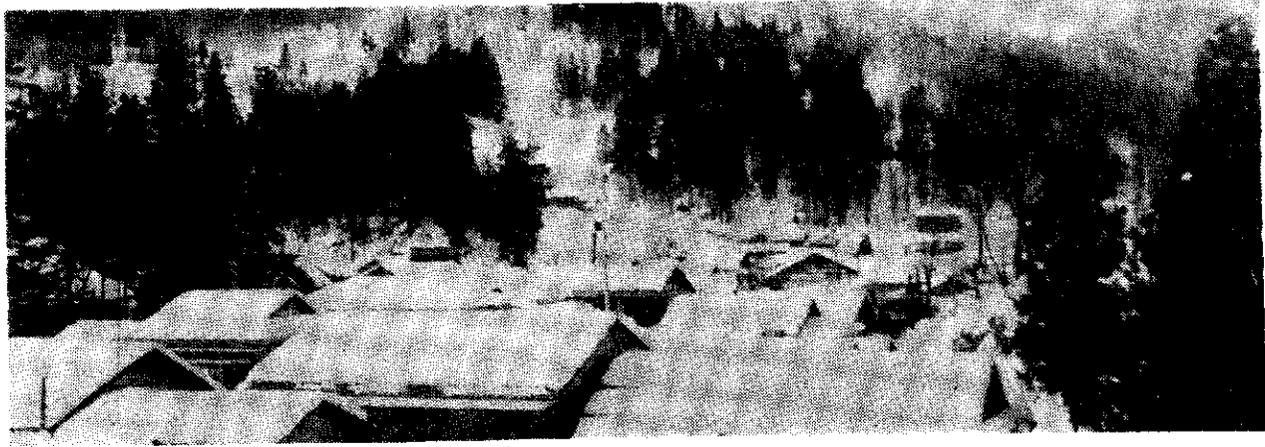
減反や冷害による米作の不振からか、今年の出稼ぎは早く、十月の末には殆んどの人が関東方面や名古屋方面を中心に掛付けられま

に向けて約二〇台のバスを予約中ですが、このバスが故郷の空にエンジンの音を響かせて到着するのは次の日程です。

東京方面 二九日 三〇日
三一日(いずれも一二月)
名古屋方面 二九日 三一日
大阪方面 三〇日

ドル・ショック等の影響もありその職場が大きく狭められてき、仕事の内容も大ぶ変り、最初就職したところから、次の職場に移る人も出てくるなど、今更ながら出稼ぎの持つ問題点を見せつけられるような年です。それでも正月には元気な姿を家族にみせる日を楽しみに働いておられる様です。
さて今年も町の出稼ぎ組合では正月帰省バス運行の計画をたてていま申込みの受け付け最中です。今年も東京・名古屋・大阪方面

出発はそれぞれの前日夜、東京は上野西郷像前、大阪は大阪駅前、名古屋は新幹線駅前から発車することになっています。
尚この帰省バスの申込みは一月一〇日までに町役場職業係宛といたるべく早目にされます様希望しています。



昭和46年産葉たばこ収納成績表

部落名	耕作員 人	耕作面積 アール	収量 kg	収納代金 円	10アール当	
					収量 kg	金額 円
松代中町	6	95.0	1,753.0	969,155	185	102,016
松代下町	8	91.4	2,136.0	1,161,545	234	127,084
太田平	9	219.7	5,211.0	2,796,400	237	127,283
池尻	1	31.2	781.0	404,360	250	129,603
会沢	1	12.0	271.5	131,090	226	109,242
清水	8	125.1	2,627.0	1,238,890	210	99,032
犬伏	7	127.5	2,306.0	1,145,420	181	89,837
孟地	13	245.8	5,927.5	3,316,945	241	134,945
中子	8	173.2	3,646.0	2,100,885	211	121,298
桐山	5	85.7	1,805.5	1,091,195	211	127,327
片桐	5	109.8	2,700.5	1,546,550	246	140,105
芋島	5	58.2	769.0	428,000	133	73,540
滝沢	1	18.9	478.0	273,250	253	144,577
仙納	1	5.9	101.0	46,110	171	78,153
あざみ	3	61.7	1,066.5	498,165	173	80,740
蒲生	3	29.7	665.0	348,270	224	117,263
室野	1	4.5	82.0	25,375	182	56,389
峠	1	10.5	206.5	74,885	197	71,319
計	86	1,505.8	32,533.0	17,596,490	216	116,858

今年の葉たばこ収納成績がこの程係より発表になりました。これによりますと夏場の天候不順が大きく響き、のきなみ減収という結果に終わった様です。耕作者も昨年に比べ二三名も減り、耕作面積も約五四アール減ということになっていきます。

収納の実績は耕作者八六名、作付面積一、五〇五、八アール、収量は三二、五三三、〇キログラムですが、総収納代金一七、五九六、四九

〇円と昨年より約二五〇万円の収入減となっています。最高所得者は五四、五アールで一、二二五、〇キログラム、収納代金が約五一万円です、また最高の反当り所得者は一八万一千円で、これは昨年にくらべ約五千円の増ということですが、天候不順による収納の減は、それとしても、昨年に続く減反などがあった今年です、もう少し作付面積がのびるのではないかと

葉たばこの収納終る

— 昨年より三割落ちの成績 —

珠算検定行なわれる

二級合格者は小学生ただ一名

その回を追う度に受検者の増加をみている。松代町商工会主催の珠算検定は一月二日、松代中学校を会場に行なわれました。今回は総受検者が三二五名にのぼり一級から八級までそれぞれ教室に分かれて受検しました。合格率は三三・二パーセントで前回よりややおとっていましたが、真剣なまなざしで、そろばんをはじく姿はいつに変わらぬ受検風景でした。

この日、二級に松代小学校の吉田玲子さん(五年生)が見事合格し関係者を喜ばせました。なお各級の受検者及合格者数は次の通りです。

級	受検者数	合格者数
一級	一〇名	〇名
二級	三一	一
三級	四二	六
四級	四四	一〇
五級	五三	一一
六級	四八	二一
七級	四八	三六
八級	四九	二二

猟銃の扱いは慎重に

安塚警察署松代幹部派出所

一月一日から狩猟が解禁になりました。狩猟については「鳥獣保護及び狩猟に関する法律」で規制されています。昨年度の狩猟期間中に発生した猟銃による事故は全国で二四一件もあり、二〇名の方が死亡、二二一名の方がけがをしています。

本年も解禁初日から各地で銃の暴発による人身事故などが続発しています。銃を持つ人は勿論、近くの人も充分気をつけてください。

●銃を手にしたら、まずタマがこめられていないかよく確かめる。

●銃口を人に向けたり、他人に銃をさわらせないようにする。

●見透しのきかないヤブや雑木林や、タマがはねかえるような岩山などに向けて発射しない。

●銃の持ち運びは、必ずタマを抜き、安全を確認してケースに入れる。

●手入れをするときは弾倉にタマがないことを確かめてから行い、人を近づけない。銃の盗難、亡失を防ぐため次の点に注意してください。

「山の中から心配はない」「ほんのちよっとした間だから」という軽い気持ちで、銃を小屋や自動車などに放置しない。やむを得ず銃を自動車におくときは、できるだけ自動車のトランクに納める。

座席におくときでも、銃に毛布などをかぶせ、一見銃があることがわからないようにし、ドアロックを確実にする。

松代町家畜

市場終る

十一月十四日の最終市場が終了したので今年度の取引状況を集計してみました。それが次表です。昨年は松代松之山両町よりの上場頭数は四六三頭で、その平均価格は六九、三五六円でした。本年度は次表の如く上場頭数は二九八頭と昨年より一六五頭少く、その激減したのには全く驚ろきました。然し二九七頭の平均価格は九一、九三三円と昨年より二二、五七七円も高かったのです。全国的に肉用牛は減少しつつありますが牛肉の需要は増加する一方です。今後は今後とも価格の下落はないものと考えられます。

昭和46年度松代家畜市場取引成績表

区分	松代地区	山平地区	奴奈川地区	松之山地区	浦田地区	合計
頭数	77	40	17	69	95	298
売上金額	7,217,700	3,579,300	1,521,400	6,379,800	8,697,900	27,396,100
最高価額	メス	123,100	100,100	116,000	117,000	125,100
	オス	107,200	97,200	90,300	112,600	120,000
	去	125,200	115,600	103,300	131,400	120,100
平均価額	メス	91,938	86,000	89,985	88,934	89,016
	オス	84,031	83,371	85,000	90,737	90,866
	去	102,536	98,130	91,916	100,380	94,996
平均	93,736	89,482	89,494	92,460	91,556	91,933

米の生産調整等で農業経営そのもの不安感が牛まで減少させたものとみられますが、この土地で農業を生計の柱とするならば、畜産に肉用牛の飼養を経営の中に組入れるべきだと考えます。
(畜産係)

知事賞に輝く蒲生小学校

県の科学発表会終る

去る十一月九日、県教育委員会主催の新潟県児童生徒科学発表会が、県立教育センターにおいて行なわれました。今年度は四万点以上の中から地区予選を積み重ね、当日は選ばれた研究作品六五五点(小学校中学年一四四点、高学年一四四点、中学校第一分野一四四点、第二分野一四四点、高校九点)に晴れの県知事賞、その他には県教育委員会賞が贈られました。その中の小学校高学年の部で見事、蒲生小学校の小堺和也君ほか一三名の研究物が知事賞に選ば

れ、この日発表を行いました。研究は「ぬげ地にウドはなぜ多い」というもので三年間連続の研究が実を結んだものです。郡内ではたゞ一つの受賞ですが、これは町内各学校が日頃科学教育に大いに力をそそいでいる一つの表れでもあるとして、関係者は喜び合いました。尚町内の各小中学校では、毎年郡の科学発表会では優秀な成績を収めているもので、避地における科学教育を大切に育てている実績は高く評価されています。

桐谷組合立校の解散式

来春から松代町立校として……

戦後、松代、中魚沼郡川西町、刈羽郡高柳町の三町組合立学校として発足した桐谷小・中学校は、その後仙田桐山が松代町に合併し二町(松代町、高柳町)の組合立校として運営されて来ました。ところが時代の流れと共に進んだ農村の過疎化は、高柳町後谷部落の挙家離村という姿を見せ、去る十一月五日全戸故郷を離れていきました。従って学校に通う生徒児童は松代町のみとなるため、組合立校としての桐谷小・中学校は来春より松代町立桐山小・中学校となることになりました。

この日全校生徒や桐山全戸の人の参列する中で、中越教育事務所長を初め関係課長、上越教育事務所の学校管理課長等の来賓も出席松代・高柳両町長、助役、収入役議会議長、教育長などがつきつぎに、二十数年の歴史をふりかえって感慨無量のあいさつをのべられました。組合立校管理者から、児童生徒一人一人に記念品が渡され、子ども達も去って行く友達と

お知らせ

電話番号の異動

の名残りをおしむ姿に世相の流れを大きく感じさせていました。

戦後、松代、中魚沼郡川西町、刈羽郡高柳町の三町組合立学校として発足した桐谷小・中学校は、その後仙田桐山が松代町に合併し二町(松代町、高柳町)の組合立校として運営されて来ました。ところが時代の流れと共に進んだ農村の過疎化は、高柳町後谷部落の挙家離村という姿を見せ、去る十一月五日全戸故郷を離れていきました。従って学校に通う生徒児童は松代町のみとなるため、組合立校としての桐谷小・中学校は来春より松代町立桐山小・中学校となることになりました。

- ◎新設
 - 松代 市川 一郎 九三九五
 - 志賀満寿藏 九三六七
 - 齊木 勉 七四七六
 - 石口 了 九二八五
 - 山岸 昭夫 八五一七
 - 村山カズイ 四二五二
 - 佐藤 伸之 四七五五
 - 村山 松吉 四七五八
 - 佐藤 正和 四二〇九
 - 草村 泰夫 五六六
 - 実幸屋商店 五六五
- ◎変更
 - 木和田原中沢桂太郎 四六八二
 - 滝沢 佐藤 謙次 七一七四
 - 小荒戸 富沢 一男 七四三七
- ◎廃止
 - 諏訪峠部落 (中沢栄八方) 一一八
 - 石畑部落 (山岸孫一方) 六一一八
 - 木和田原部落 (中沢重雄方) 五三八

